

再 評 価 調 査 書

I 事業概要					
事業名	農業農村整備事業（緊急農地防災事業）				
地区名	ふくはら 福原地区				
事業箇所	あいさい たつた 愛西市立田町				
事業のあらまし	<p>本事業の対象地域は、愛西市の南西部に位置し、一級河川木曾川と一級河川長良川に囲まれた流域面積 43.2ha の農業地域である。</p> <p>本地域の雨水等の排水については、現在、1979 年に長良川河口堰事業の補償工事で整備された福原排水機場により、一級河川長良川に強制的に排水されているが、流域開発による降雨流出量の増加や排水機場の老朽化に伴う機能低下により、豪雨時にはしばしば農地や農業用施設などに湛水被害が発生する状況となっている。</p> <p>こうしたことから、2016 年度より本事業を実施し、設置から 30 年以上が経過し機能低下が著しい福原排水機場を改修している。</p>				
事業目標	<p>【達成（主要）目標】</p> <p>老朽化した福原排水機場を改修し、流域内の湛水被害を未然に防止することにより、地域住民の安全・安心を確保するとともに、農業経営の安定を図る。</p> <p>（計画基準雨量：341mm/3 日、1/20 年確率雨量）</p> <p>【副次目標】</p> <p>—</p>				
計画変更の推移		事前評価時(2016)	再評価時(2020)	変動要因の分析	
	事業期間	2016～2022	2016～2025	地元調整による延長	
	事業費(億円)	9.6	9.6		
	経費内訳	工事費	8.3	8.3	
		用補費	0.1	0.1	
		その他	1.2	1.2	
事業内容	排水機場 1 か所	排水機場 1 か所			
II 評価					
①事業の必要性の変化	1) 必要性の変化	<p>【事前評価時の状況】</p> <p>流域開発による降雨流出量の増加や既設排水機場の老朽化に伴う能力低下により排水状況が悪化し、湛水被害が生じていることから、早急に改修し、排水能力を向上する必要がある。</p> <p>【再評価時の状況】</p> <p>排水機場の更新のほかに地域の排水機能を抜本的に向上させる手法はなく、排水能力不足は解消されていないため、早急に施設の改修が必要な状況は継続している。</p> <p>【変動要因の分析】</p> <p>地区の排水能力不足は改善されておらず、事業の必要性は依然として高い。</p>			
	判定	B	<p>A： 事業着手時に比べ必要性が増大している。</p> <p>B： 事業着手時に比べ必要性にほとんど変化がない。</p> <p>C： 事業着手時に比べ必要性が著しく低下している。</p> <p>※事業着手時と比較することが適当ではないと判断される場合は、「事業着手時」を「前回評価時」に置き換えることができる。</p> <p>【理由】</p> <p>地域の排水能力不足は解消されておらず、早急に施設の更新が必要な状況は継続しているため。</p>		

Ⅲ 対応方針	
継続	中止：上記①～③の評価で一つでもC判定があるもの。 継続：上記以外のもの。
Ⅳ 事後評価実施の有無と主な評価内容	
<p>■対象（事業完了後5年目） <input type="checkbox"/>対象外</p> <p>【事業完了後5年を越えて実施する理由・対象外の理由】</p> <p>—</p> <p>【主な評価内容】</p> <p>事業後の湛水被害の有無を確認</p> <p>※事業完了後5年以内に計画規模と同等の降雨が発生した場合、その降雨により評価する。ただし、事業完了後5年以内に計画規模と同等の降雨が発生しなかった場合は、事業完了後5年間の最大規模の降雨により評価する。</p>	